

魅力あふれる大会プログラム

世界大会ならではの企画がいっぱい

「核兵器のない平和で公正な世界」の展望を語ろう

国連、政府代表
の話を直接聞き
話合えます



アンゲラ・ケイン
国連軍縮問題担当
上級代表 (現在招聘中)



デスラ・ペルチャヤ
国連大使 (インドネシア)

いま国連加盟国の圧倒的多数の政府が核兵器廃絶を主張し、137か国（加盟国の7割）が核兵器禁止条約のすみやかな交渉開始を求めています。今年の世界大会には、国際政治の流れを代表し、国連軍縮問題担当上級代表と非同盟運動（120か国）の軍縮担当国インドネシアの国連大使が8月4日の開会総会でスピーチします。

核兵器の非人道性を世界に告発

マーシャル外務大臣
オーストリア大使が
スピーチします



トニー・デブルム
マーシャル外務大臣



アレクサンダー・クメント
オーストリア大使

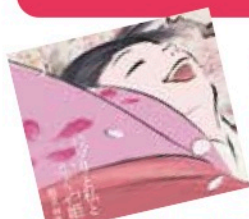
半世紀以上にわたって被爆者が訴え続けてきた核兵器の非人道性が国際政治の議論の焦点となり、核兵器廃絶のうねりをつくりだしています。今年の世界大会には、その先頭に立つオーストリアのアレクサンダー・クメント大使と、4月にアメリカ、ロシアなど核保有国を国際司法裁判所に提訴したマーシャルのトニー・デブルム外務大臣が参加し、私たちに熱いメッセージを伝えます。核兵器の非人道性を世界に訴えるスペシャルプログラム「被爆地広島から世界へ」（6日、ヒロシマデー集会）も注目です。

2015年NPT・ニューヨーク行動へ 世界の反核運動と日本の草の根が連帯

今年の世界大会は、来年4月の2015年NPT（核不拡散条約）再検討会議に向けてとりくまれるニューヨークの国際共同行動を準備するアメリカ反核団体のリーダーをはじめ世界の反核団体の代表とともに、草の根の行動の決意を示します。全国で集めた「核兵器全面禁止のアピール」署名のプレゼンテーション（4日）で会場全体が一つになります。

分科会（5日）はすべての参加者一人ひとりが主人公になる日です。2015年NPT再検討会議に向けて海外代表とかみあった討論や質疑、焦点となる非核平和のアジア、集団的自衛権と憲法、非核平和の自治体づくり、核兵器と原発、基地撤去などの運動交流や討論、青年の被爆者訪問や原爆碑めぐり、映像のひろば、岩国・呉基地の調査に参加できます。

8月6日ヒロシマデー集会



高畑勲監督「かぐや姫の物語」の
主題歌「いのちの記憶」
を歌詞作曲

広島県大竹市出身、僧侶の資格をもつ異色のアーティスト

二階堂和美がうたう



《スペシャルプログラム》

「被爆地広島から世界へ」

核兵器の非人道性を世界に告発

- あの日証言（広島被爆者）
- マーシャル代表（外務大臣）
- ロシア・チェリャビンスクの核被害者

原水爆禁止2014年世界大会・広島の日程

- 開会総会 8月4日（月）14時～16時半
（広島県立総合体育館グリーンアリーナ）
- 分科会 8月5日（火）9時半～15時（広島市内）
- 閉会総会／ヒロシマデー集会 8月6日（水）10時半～13時
（広島県立総合体育館グリーンアリーナ）

※詳しくは世界大会実行委員会のホームページをご覧ください。

<http://www.antiatom.org/>

お問い合わせは、世界大会実行委員会（03-5842-6035）又は
各都道府県原水協へ（連絡先は原水協ホームページで）